

道路通称名募集に関する説明と意見交換協議会の応募について

新宿区道路通称名の募集について（みどり土木部道路課職員 4 名来会）

【道路通称名の選定について】

通称名を募集する主旨（意図）

区では道路に通称名を付け地域に親しまれ、安全で快適な道作り（まちの動脈、静脈を作る）につなげるため募集した。

また、今回は、募集基準（条件）の緩和を試み、応募しやすいようにした。

選定委員会の構成

学識者、区学芸員、町会代表者等で構成される予定。また、地域住民の意見も選考過程で伺う。協議会が選考に入っていないのは、活動に地域差があり必ずしも選定を頼める状況ではない協議会もあるので無理なご依頼を避けたため。

現在の応募状況

投票箱内で 50 通。落合地域より 30 通（生活に便利な路線）。応募に地域差がある。

【協議会意見（要点）】

新宿区都市マスタープラン等を作ったが活用されていないと感じる。

区がまちづくりに関する「何か」を募集するとき（募集する前のプラン段階で）地域（区民）の声をぜひ聴いて欲しい。（行政で募集を決定してから公募を開始して応募して欲しいというのではなく）どのような募集方法を地域が望むことなのか、そこから配慮を願いたい。

新しい名称が付いて地域にとって便利になることも大切だが標記には歴史的な旧名を括弧書きで残すなど江戸と平成の融合を検討して欲しい。

選ばれなかった理由もオープンにして欲しい。

通称名に選定されなくても歴史的な背景のある横町、坂名など由来を標記した表示板の整備を求めたい。子どもたちにも歴史を記憶してもらえ、四谷を訪れる人々に親しみを持っていただけると考える。今後協議会の要望にも耳を傾け相談に乗っていただきたい。

今回の意見は協議会からの意見であり、地域には実情による様々な意見がある。その点を考慮して選定をお願いしたい。

【四谷地区協議会の応募について】

- ・四谷わくわくマップに記載されている「横丁、坂」の位置を歴史博物館学芸員に確認し応募する。その際マップに記載されている「横丁、坂」の資料を添付する。協議会の応募に関しては、地域の方々の命名の妨げになるような意味合いではなく、新通称名が付いたとしても、歴史ある名前を何かの形で残せるよう配慮して欲しい旨の応募であることを添える。

次回日程

お宝実行委員会 平成 21 年 7 月 7 日（火）18：30～ 四谷特別出張所会議室
第 1 分科会 平成 21 年 7 月 21 日（火）18：30～ 四谷特別出張所会議室